

2019年度

事業報告書

2020年6月24日

公益財団法人NHK交響楽団

— 目次 —

はじめに	1
I 演奏活動	2
1. 定期公演	2
2. 特別公演	4
3. NHK音楽祭	5
4. 全国各地での公演	5
5. 外国公演	6
6. 契約公演	7
II 放送への出演	7
1. 定期公演・特別公演の放送	7
2. 録音	8
3. 国際放送による演奏発信	8
III 特別支援・賛助会員	8
IV 広報・事業活動	8
1. 多様なツール活用と1回券の販売強化	8
2. 「池袋C」プログラムへの取り組みと定期会員サービス	9
3. ハイレゾ音源による演奏会のストリーミングの試み	9
V 教育プログラム	9
VI 社会貢献活動	11
1. 全国各地での室内演奏	11
2. 国際交流活動	11
3. 歴史的資料の保存	11
VII 顕彰の実施	11
1. 尾高賞	11
2. 有馬賞	12
VIII 経営管理	12
1. 収支の適正化	12
2. 業務体制と職場環境の整備	12
3. 新型コロナウイルス感染症対策	13
IX 業務の適正を確保するための体制の評価	13
X 法人の概況	14
XI 処務の概況	15
XII 理事および監事に支払った報酬の額	17
<資料1>2019年度公演概要	18
<資料2>2019年度演奏活動実績	19
<別添・資料3>ヨーロッパ公演2020	

はじめに

2019年度、NHK交響楽団は、5シーズン目を迎えた首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィとの歩みをより確かなものとし、3年ぶりに行ったヨーロッパ公演の成功など、内外での活動をさらに充実させた。

定期公演では、パーヴォ・ヤルヴィとの意欲的なプログラムをはじめ、桂冠名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットやクリストフ・エッシェンバッハ、ファビオ・ルイーヂといった世界的な巨匠たちとの豪華な共演をお届けすることが出来た。

事業の柱となったヨーロッパ公演は、クラシック音楽の本場7か国9都市を18日間で回る大がかりなものだった。ブルックナーの交響曲がそのゆかりの地、オーストリアやドイツでどう評価されるかなど、挑戦の旅でもあった。しかしウィーンを含め4都市でチケットが完売、各地で地元メディアから高い評価を受けた。日本のオーケストラの実力と当団の存在感を示すことが出来たのは大きな成果だった。

大規模な演奏の一方で、被災地や離島の学校などを回ってクラシック音楽に親しんでもらう「NHK子ども音楽クラブ」や次世代の音楽家を育成する「N響アカデミー」など、教育と社会貢献の活動にも継続して取り組んだ。

2020年度はNHKホールの工事に伴って、9月から一部の公演の会場を池袋の東京芸術劇場に移す。広報宣伝活動では、この新しい拠点への移行を定期会員に丁寧に事前周知するとともに、SNSなど多様なツールを活用してチケット販売の強化を図った。

演奏の発信では、民間と提携し、インターネットを通じた高音質の配信試験に継続して取り組んだ。また、NHKと連携し、国際放送による演奏の世界発信も行った。当団の演奏に接していただくチャンネルを増やす試みをさらに続ける。

年度末の新型コロナウイルスの感染拡大で当団を取り巻く状況は一変した。3月中旬からすべての公演が中止となり、練習場は事実上の閉鎖、事務局も可能な限り在宅勤務を余儀なくされるなど1926年の創設以来、経験のない事態に直面した。楽員や事務局職員、スタッフの安全を確保しつつ財政面の苦境をどう克服し、音楽芸術を担う公益財団法人としてどう社会に貢献していくのか、大きな試練の時である。

I 演奏活動

1. 定期公演

今年度は 27 プログラム・54 公演と例年どおりの実施となった。Aプログラムと CプログラムはNHKホール、Bプログラムはサントリーホールと、従来同様の会場で行った。

(2019年)

<4月>

3人の個性的な指揮者が登場。Aプロは当団初登場のヤクブ・フルシャがヤナーチェク《シンフォニエッタ》などを、Bプロは下野竜也がヴァインベルク《交響曲第12番「ショスタコーヴィチの思い出に」》などを指揮。Cプロでは3年ぶりの登場となった山田和樹が矢代秋雄《ピアノ協奏曲》を河村尚子と共演するなどした。

<5月>

Aプロはオランダの巨匠エド・デ・ワールト。自身が世界初演したジョン・アダムズ《ハルモニーレーレ》を演奏した。またB、Cプロはネーメ・ヤルヴィが、サン・サーンス《交響曲第3番》などフランス・プログラムやトゥビン《交響曲第5番》といった北欧作品などを指揮した。

<6月>

2018-19シーズン締めくくりは3プログラムとも首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィ。バリトンのマティアス・ゲルネをむかえたマーラー《こどもの不思議な角笛》やメシアンの大曲《トゥランガリラ交響曲》、ブルックナー《交響曲第3番》などを演奏した。

<9月>

首席指揮者就任5シーズン目となったパーヴォ・ヤルヴィが6月に続き登場。2019年はポーランドと日本との国交樹立100周年となることから、ルトスワフスキなどポーランドの作曲家による作品を揃えたプログラムを披露。また、シベリウス《交響曲第6番》などの北欧作品、マーラー《交響曲第5番》などを演奏した。

<10月>

Aプロは、井上道義がグラス《2人のティンパニストと管弦楽のための協奏的幻想曲》とショスタコーヴィチ《交響曲第11番》を指揮。「最も心に残ったN響コンサート2019」で第1位に選ばれた。また、グラス作品で共演した植松透、久保昌一

(当団ティンパニ奏者)も「最も心に残ったソリスト 2019」で第1位となった。B, Cプロは、毎シーズン登場しているトゥガン・ソヒエフが、ドビュッシー、ビゼーなどのフランス音楽や、チャイコフスキー《交響曲第4番》などのロシア音楽を指揮した。

<11月>

桂冠名譽指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットが3プログラムを指揮。ブラームス《交響曲第3番》、R. シュトラウス《交響詩「死と変容」》、モーツァルト《ミサ曲ハ短調》などを演奏した。当初予定のピーター・ゼルキンは体調不良のため来日できなくなり(2020年2月1日逝去)、マルティン・ステュルフェルトがステンハンマル《ピアノ協奏曲第2番》で共演した。

<12月>

30~40歳代の俊英3人が登場。指揮者として初登場の鈴木優人はメシアン、コレリ、メンデルスゾーンなど古今の作品を、スペイン出身パブロ・エラス・カサドはリムスキー・コルサコフ《スペイン奇想曲》などを、そしてベネズエラ出身のディエゴ・マテウスはベルリオーズ《幻想交響曲》などをそれぞれ指揮した。

(2020年)

<1月>

クリストフ・エッシェンバッハと2年ぶりの共演は、マーラー《交響曲第2番「復活」》、ブラームス(シェーンベルク編曲)《ピアノ四重奏曲第1番》など、また3年ぶりとなるファビオ・ルイーダとはR. シュトラウス《交響詩「英雄の生涯」》、ソプラノのクリスティーネ・オポライスと《四つの最後の歌》などドイツ音楽のプログラムとなった。

<2月>

パーヴォ・ヤルヴィがA, Bプロを指揮。2月下旬からのヨーロッパ公演でも演奏したブルックナー《交響曲第7番》、ラフマニノフ《交響曲第2番》を取り上げるとともに、デンマークの作曲家エブラハムセンに共同委嘱した《ホルン協奏曲》の日本初演をベルリン・フィル首席奏者のシュテファン・ドールとともに行った。Cプロは、当団定期初登場のラファエル・パヤーレがオール・ショスタコーヴィチ・プログラムを指揮した。

■ 定期公演入場者と定期会員(席)数

2019年度の定期公演入場者数は、109,778人(前年度比6,799人減)であった。

また、定期会員（席）数は、年間会員・シーズン会員合わせて 8,229 人（同 241 人減）、うち年間会員は 7,144 人（同 216 人減）となった。会員（席）数の減少幅は、前年度に比べて 1/3 程度に抑えられたが、減少傾向は続いており、総入場者数の減少の一因となった。

■ 定期公演の収入

定期公演のチケット収入は、5 億 6,000 万円（前年度比 3,400 万円減）で 5.7% の減収となった。定期公演のチケット収入の 73% は定期会員券によるもので、会員の減少が響いている。一方で、チケット収入全体に占める 1 回券の割合は※漸増傾向となっており、26% 余りを占めている。また、2019 年度の完売は、54 公演のうち 12 公演だった。

※1 回券の比率は 2019 年度が 26.6%（前年度比+0.1）。2016 年度は 21.9%。

2. 特別公演

定期公演以外に当団の主催で以下の公演を行った。

(1) Music Tomorrow 2019

内外の優れた現代音楽作品を取り上げ、新たな音楽文化の創造に寄与することを目的とした当団では唯一の現代音楽だけの公演。第 67 回尾高賞授賞作品の藤倉大《Glorious Clouds for Orchestra(2016/17)》のほか、当団委嘱作品である薮田翔一《祈りの歌(2019)》（世界初演）、カサブランカス《いにしへの響き—管弦楽のための即興曲(2006)》（日本初演）などを演奏した。

また、演奏会の冒頭で第 67 回尾高賞の授賞式を行った。

(5/28 東京オペラシティ・コンサートホール)

(2) 明電舎 presents N響名曲コンサート 2019

クラシック音楽のファン層の拡大をめざした名曲コンサート。井上道義指揮でベルリオーズ《幻想交響曲》、大萩康司のギターでロドリゴ《アランフェス協奏曲》などを演奏した。株式会社明電舎の特別協賛をいただいた。

(7/2 サントリーホール)

(3) N響「夏」2019

毎年夏に開催する恒例のサマーコンサート。モスクワに生まれフィンランドで学んだディマ・スロボデニュークの指揮で、シベリウス《交響曲第 2 番》や、シ

モン・トルプチェスキの独奏でラフマニノフ《ピアノ協奏曲第2番》などを演奏した。

(7/19 NHKホール)

(4) 松山定期演奏会

愛媛県内の多くの企業の協賛をいただいて毎年行っている。演奏内容は「N響『夏』2019」と同じ。

(7/21 松山市民会館)

(5) N響ほっとコンサート

夏休み期間中に少年少女やファミリー向けの演奏会として実施した。今回は、名曲で世界一周をテーマに、ヨーロッパ、北米、南米、日本の作曲家の作品からオーケストラのだいご味を味わうことができる曲を選び演奏した。指揮には当団初登場の原田慶太楼、ピアニストに反田恭平を迎え、観客席も巻き込んだ楽しい演奏会となった。

(8/4 NHKホール)

(6) 「第九」演奏会

年末恒例の第九公演。当団とは16年ぶりの共演となるオーストラリア出身のシモーネ・ヤングの指揮で演奏をした。

(12/21,22,23 NHKホール)

(12/26 サントリーホール)

3. NHK音楽祭

NHKの音楽イベントとして2019年で17回目を迎えた。今回は、トン・コープマンの指揮で、モーツァルトの《交響曲第40番》と《レクイエム》を演奏した。

(10/10 NHKホール)

4. 全国各地での公演

NHKとの共催で、全国9都市で公演を行った。

7月は、北海道の5都市で、ローレンス・レネス指揮でマーラー《交響曲第4番》、服部百音の独奏でモーツァルト《ヴァイオリン協奏曲第5番》を演奏した。

(7/8 帯広市民文化ホール)

(7/9 釧路市民文化会館)

(7/11 北見市民会館)

(7/12 旭川市民文化会館)

(7/13 札幌コンサートホール Kitara)

9月は、東海・北陸の3都市で、パーヴォ・ヤルヴィ指揮でチャイコフスキー《交響曲第2番》、川久保賜紀の独奏でブルッフ《ヴァイオリン協奏曲第1番》などを演奏した。

(9/5 津 三重県文化会館)

(9/7 ハーモニーホールふくい)

(9/8 富山 オーバード・ホール)

12月には大阪で、パブロ・エラス・カサド指揮でチャイコフスキー《交響曲第1番「冬の日の幻想」》などを演奏した。

(12/15 NHK 大阪ホール)

5. 外国公演

2017年以来となるヨーロッパ公演を行った。今回は2月18日に日本を出発、ヨーロッパ7か国9都市で公演を行い3月6日に帰国した。

首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィのもと、ソリストにソル・ガベッタ（チェロ）、カティア・ブニアティシヴィリ（ピアノ）をむかえた演奏は、各地で高い評価を得ることができ、ヨーロッパにおける当団の存在感をさらに増すことができた。

パーヴォの出身国であるエストニアの首都タリンとドイツのドルトムントは当団として初めての公演となり、地元の聴衆や現地の日本人など多くのお客様が来場し両会場ともチケットが完売。また、パリ、ウィーンも完売となるなど、「N響+パーヴォ」のインパクトを再びヨーロッパで残すことができた。

なお、今回の日程は、ヨーロッパで新型コロナウイルスの感染が急拡大する直前であったことから、演奏会の実施、人員や楽器の移動などはすべて予定通り行うことができた。

(演奏曲目)

武満徹《ハウ・スロー・ザ・ウィンド》、シューマン《チェロ協奏曲》、ベートーヴェン《ピアノ協奏曲第3番》、ブルックナー《交響曲第7番》、ラフマニノフ《交響曲第2番》

- (2/22 タリン エストニア・コンサート・ホール)
- (2/24 ロンドン ロイヤル・フェスティバル・ホール)
- (2/25 パリ フィルハーモニー・ド・パリ)
- (2/27 ウィーン コンツェルト・ハウス)
- (2/28 ケルン フィルハーモニー)
- (2/29 ドルトムント コンツェルトハウス)
- (3/2 アムステルダム コンセルトヘボウ)
- (3/3 ベルリン フィルハーモニー)
- (3/4 ブリュッセル パレ・デ・ボザール)

6. 契約公演

2019年度に実施した契約公演は30公演。

- ① 都内は、東京・春・音楽祭（東京文化会館）2公演、N響ゴールデンクラシック（サントリーホール）2公演、オーチャード定期（5月、6月、7月、1月計4回）、歌劇「フィデリオ（演奏会形式）」（オーチャードホール）2公演、東京芸術劇場、NTT東日本コンサート（東京オペラシティ）、かつしかシンフォニーヒルズ、NHK厚生文化事業団第九公演（NHKホール）
 - ② 関東は、横須賀、川崎、つくば、さいたま、足利、高崎、
 - ③ 全国各地の都市では、白河（福島県）、静岡、大阪、鳥取、安城（愛知県）、福山（広島県）、豊田（愛知県）、いわき（福島県）、名古屋、郡山（福島県）
- *オーチャード定期(10/13)は大雨被害のため、また、オーチャード定期(3/14)および都民芸術フェスティバル(3/17)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いずれも主催者の判断で中止となった。

II 放送への出演

1. 定期公演・特別公演の放送

2日間行われる定期公演の1日目は、毎回FM放送で生放送され、またテレビ録画されて後日Eテレ「クラシック音楽館」で放送されている。年末の第九公演もテレビ、FMで放送されている。

本放送が始まっているBS8Kでは、定期公演の生放送(11/30、1/31、2/15)、NHK音楽祭の生放送(10/10)が行われた。

「Music Tomorrow 2019」はFM「現代の音楽」(6/16、23)で放送された。

ヨーロッパ公演はタリン公演が収録され、後日放送される予定である。

2. 録音

大河ドラマ「麒麟がくる」テーマ曲、朝の連続テレビ小説「エール」の関連楽曲、「名曲アルバム」の録音を行った。

3. 国際放送による演奏発信

海外向けの国際放送「NHKワールド JAPAN」で当団の演奏を特集した番組「Masterpieces performed by NHK Symphony Orchestra」がスタート。NHKとの連携のもと、2019年5月と2020年1月の2回にわたりパーヴォ・ヤルヴィやヘルベルト・ブロムシュテットの指揮による演奏など計6番組が放送された。

これらはテレビに加えてインターネットのライブストリーミングにより世界各地で視聴することができた。

III 特別支援・賛助会員

2019年度末の特別支援は5社で変動はない。賛助会員（1口50万円、個人を含む）は、188社（人）298口で、前年度に比べ4社（人）減となったが、合計の口数は16増となった。企業のCSR活動の関心がスポーツなど多様な分野に広がる中で、新規入会の勧奨や既存会員へ増口のお願いなどに取り組んだ結果、口数の増加を実現できた。今後、新型コロナウイルス感染拡大による業績悪化などの影響が懸念される。

IV 広報・事業活動

1. 多様なツール活用と1回券の販売強化

2019年度は、従来のTwitter、Facebookに加えてN響公式Instagramの運用を開始しSNSを充実させた。通常は見る事が出来ない舞台裏での演奏者の素顔や公演の前後の様子を動画を交えてすばやく発信し、広い世代にN響をより身近に感じてもらうことに努めた。また、紙媒体では2019年9月の新シーズンから月々の定期公演のチラシを新たに制作し、ポスターやデジタルサイネージにも展開した。いずれも個々の公演の魅力を視覚的に印象付けることに重点を置き、1回券の販売強化を図った。

また、2020年2月から3月のヨーロッパ公演では、ホームページやSNSと連動

し、現地からの映像を交えた公演報告、メディア評などを開催地ごとに逐次伝え、ファンの関心に応えた。

2. 「池袋C」プログラムへの取り組みと定期会員サービス

NHKホールの改修工事などに伴って、2020年9月の新シーズンから定期公演Cプログラムの会場が東京芸術劇場（池袋）に移る。このプログラムを「池袋C」と命名し、既存のCプロ会員のスムーズな移行と新規会員の獲得に向けた準備に取り組んだ。新しい会場はNHKホールよりも座席数が少ないため配席について綿密に検討を重ね、会員に疑問や不安が生じないよう移行1年前の2019年秋からホームページやパンフレット、会員への郵便などを通じて丁寧に説明を続けた。

また、「池袋C」を含む新しいシーズンのラインナップをいち早く知ってもらうため、2020年3月には一覧出来るパンフレットなどを例年より前倒しして発行し、会員の継続、新規獲得のためのPRをした。さらに年間会員へのサービスとして、シーズンを通したプログラムの解説冊子の先行配布をはじめ、演奏会CDとカレンダーの送付などの特典を継続した

インターネットを活用した予約購入システム「WEBチケットN響」は、年々利用が伸びており、2019年度は「池袋C」の会員券や一回券の販売のためのシステム改修を行い、既存の会員が円滑に移行するための利便性の向上を図った。

3. ハイレゾ音源による演奏会のストリーミングの試み

当団の演奏会をより多くの皆さまにお聴きいただくための高音質のストリーミング配信の試行を引き続き行った。これは当団と株式会社インターネットイニシアティブが協力して行っているもので、2019年度は「明電舎 presents N響名曲コンサート」(7/2 サントリーホール)をハイレゾ音質で収録し、IIJ ハイレゾストリーミングサービス「プライムシート」で8月9日から10月7日まで無料で配信した。また、当団ホームページでは8月にこの演奏会を動画と音声（通常音質）で配信した。オンデマンド配信の試験としては6回目となり、最適な収録の方式などについてなお試験を重ね、実用化に向けて配信会社や公演主催者などと協議を進めている。

V 教育プログラム

若い世代に様々な形でクラシック音楽に親しんでもらい、次世代の聴衆、演奏家を育てることを目指した活動に取り組んだ。

(1) 「NHKこども音楽クラブ」

「N響がやってきた」のキャッチフレーズのもと、次世代を育てる教育プログラムとしてNHKと共催し全国各地で実施。13年目となった。学校の体育館などを会場に弦楽合奏、管楽アンサンブルなど生の演奏を届ける多彩な内容で、2019年度は、地震や豪雨の被災地、離島をはじめ全国の小中学校11校で開催した。宮城県亘理町ではピアニストの小山実稚恵さんが、また北海道厚真町ではピアニストの梯剛之さんがそれぞれ特別出演した。

コンサートの様子は、子どもたちの表情と合わせてコンパクトに編集されNHKのホームページで紹介された。

(2) オーケストラ公演と連携した室内楽演奏、楽器クリニック

若い世代にクラシック音楽に親しんでもらい、楽員と直接ふれあう場として行った。鳥取公演にあわせて学生向け楽器クリニック(7/23)、福山公演翌日に小学校での室内楽演奏(7/30)、いわき公演と連携した小学校での室内楽演奏(9/30, 10/1, 11/11)、足利公演前日に小学校での室内楽演奏(11/8)を実施した。

(3) 「N響ほっとコンサート」(8/4)会場ロビーでの楽器体験

来場者がオーケストラで使う楽器に自由に触れて音を出してみる体験コーナーを設けた。開演前と終演後にNHKホールロビーを会場に当団楽員らが直接手ほどきをし、演奏者と観客の交流を図った。

(4) 「N響アカデミー」

日本のオーケストラの若手演奏家の育成を目的に2003年にスタートした事業。2019年度は3人が受講を修了した。この3人を含めこれまでに45人の若手がこのアカデミーから巣立ち、当団を含め日本、海外のオーケストラなどで活躍している。楽員によるレッスンの受講やリハーサル見学、楽員の指導のもとで演奏会に出演するなどの研鑽を積んでおり2020年2月31日現在12人が在籍している。

(なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から演奏会の中止や高輪演奏所の利用制限が続いており、アカデミー生の受講が困難な状況にある。そのため、4月から通常のN響アカデミーの活動を一時休止して在宅でのレポート提出などに切り替え、再開時には休止期間分を延長して受講できるようにしている。)

VI 社会貢献活動

1. 全国各地での室内楽演奏

「I.演奏計画」で記したコンサートホールで行う演奏以外にも、出来るだけ多くの方々に演奏を聴いていただくために、大編成のオーケストラでは行くことが難しい小規模の会場などで、N響メンバーによる演奏を楽しんでいただいた。2019年度は自治体や公共団体など様々な団体・企業からの依頼をうけたもの、高齢者施設での演奏、練習所のある港区と連携したものなど、30回を行った。

2. 国際交流活動

(1) ベトナム国立交響楽団との交流事業

ベトナム国立交響楽団とは、オーケストラ相互の交流を進めることを目的とする覚書を交わしており、2019年度は、10月に3人の楽員をハノイに派遣して演奏の指導を行うとともに、ベトナム国立交響楽団定期演奏会に出演した。

(2) 留学生招待

首都圏の大学で学ぶ外国人留学生を招待した。19の定期公演と特別演奏会 Music Tomorrow の計20公演で実施し、1,483人が来場した。

3. 歴史的資料の保存

2026年の創立100周年に向けて、当団創設以来の歴史的な資料を収集、整理する作業を引き続き進め、2019年度は、過去の演奏会資料や冊子などの電子化に取り組んだ。また、機関誌「フィルハーモニー」では「N響100年史」と題した連載企画を続けている。こうした資料や寄稿などは100周年のデジタルアーカイブスや記念誌にいかしていく。

VII 顕彰の実施

1. 尾高賞

故・尾高尚忠氏の功績をたたえ、邦人作曲家による優れたオーケストラ作品を顕彰するために1952年に設けた作曲賞。

第68回となる2019年度は、細川俊夫氏の《オーケストラのための「渦」

(2019)》が選ばれた。

受賞作品は、2020年5月の「Music Tomorrow2020」で演奏する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から演奏会を中止したため演奏は未定である。

2. 有馬賞

故・有馬大五郎氏（元・当団副理事長）の偉業を記念して、1981年に設けた。当団の発展に功績のあった関係者、関係団体、職員が授賞の対象。

2019年度は、指揮者として1978年以来定期公演ほか国内外で数多くの共演を重ね、当団の芸術的表現力の向上に多大な貢献をした井上道義氏に授与した。

VIII 経営管理

1. 収支の適正化

2019年度は、多様なツールによる広報宣伝、企業等への寄付の働きかけなどによって収入の確保に注力するとともに、指揮者やソリストの招聘費用など経費の抑制を図り、堅実な財政の運営に努めた。とりわけ事業の柱であったヨーロッパ公演は、協賛や助成の働きかけ、旅費、宿泊費など経費の切りつめに尽力し、ほぼ予算通りの収支で大きな成果を上げることができた。しかし、クラシックファンの高齢化や趣味の多様化などオーケストラを取り巻く環境は大きく変わり、経営を圧迫している。加えて、2019年10月には大雨災害で、2020年3月には新型コロナウイルスの影響で合わせて3件の公演が中止となり、収支は厳しい状況を余儀なくされた。

2020年9月からは、NHKホールの改修に伴い一部の定期公演の会場が東京芸術劇場に移り、座席数が減ることなどから大幅な減収が見込まれる。

2. 業務体制と職場環境の整備

オーケストラとして安定した演奏活動を継続していくため、各セクションの年齢構成をふまえた計画的な楽員採用に取り組んだ。また、事務局のマネジメント力向上や、情報セキュリティなどITリスクへ対応していくため、契約職員の採用や労働者派遣の導入などを行い、管理体制の強化を図った。

2019年度から導入した計画年休制度を適切に運用し、年次有給休暇の5日取得義務化に的確に対応した。2020年4月施行のパートタイム・有期雇用労働法に対

応するため、非正規雇用労働者の処遇条件の点検を実施し、顧問法律事務所の弁護士の見解をふまえて必要な規程改正を行った。

3. 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルスをめぐっては、国内での感染が顕在化したのが、2月下旬から3月初旬のヨーロッパ公演と相前後した時期だった。このため滞在先の当団一行と綿密に連絡を取り、国内の状況や帰国時の注意点などを逐次伝えて職員の安全確保に努めた。3月後半からは、NHKの安全指針に沿ってN響としての予防策の周知徹底を行う一方、高輪演奏所の土日閉鎖や平日の施設利用の制限を実施した。例外的措置としての在宅勤務と自宅待機を組み合わせながら出勤率を8割削減する取り組みや、安否確認システムを活用した職員の健康状態の定期的な確認、長期減収に備えた財政対策などの諸課題の検討を始めた。

IX 業務の適正を確保するための体制の評価

当団の全体的な内部統制について、「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「ITへの対応」という6つの観点から、整備状況および運用状況の有効性を評価した。また、業務上考えられる重要なリスクを抽出した上で、必要な対応(内部統制)が実施されていることを評価した。評価の結果、2020年3月31日時点における当団の内部統制は、概ね有効であると判断した。

X 法人の概況

1. 設立年月日

1942年4月27日

1926年10月5日 「新交響楽団」(任意団体)設立

1942年4月27日 「財団法人 日本交響楽団」設立

1951年8月1日 「財団法人 NHK交響楽団」に改称

2010年4月1日 「公益財団法人 NHK交響楽団」設立

2. 目的

交響管弦楽により、わが国音楽芸術の向上発展を図り、その社会文化使命を達成することをもって目的とする。

3. 事業内容

- (1) 放送演奏
- (2) 公開演奏
- (3) 演奏に必要な研究ならびに施設の運営
- (4) 機関雑誌の発行
- (5) その目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁

内閣府

5. 会員状況 (2020年3月31日現在)

- (1) 定期会員 8,229人 (年間会員およびシーズン会員合計)
- (2) 賛助会員 188社 298口 (1口50万円)

6. 特別支援・協力企業

(1) 特別支援企業

岩谷産業株式会社、三菱地所株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社みずほ銀行、公益財団法人渋谷育英会

(2) 特別協力企業

BMWジャパン、ユナイテッド航空会社、全日本空輸株式会社、株式会社松尾楽器商会、ヤマハ株式会社、株式会社パレスホテル

7. 事務所所在地

- (1) 事務所・練習場・N響ガイド (入場券販売業務)
東京都港区高輪 2-16-49

XI 処務の概況

1. 理事・監事および評議員に関する事項

(1) 理事・監事

(2020年3月31日現在)

役 職	氏 名	担当職務・現職
理 事 長	根本 佳則	
常務理事	唐木田 信也	演奏制作
常務理事	中野谷 公一	事業広報・経営管理
理 事	相川 直樹	慶應義塾大学 名誉教授
理 事	内永 ゆか子	NPO 法人 J-Win 理事長
理 事	岡田 知之	洗足学園音楽大学 名誉教授
理 事	木村 恵司	三菱地所 特別顧問
理 事	斉藤 邦彦	民間外交推進協会 顧問
理 事	銭谷 眞美	東京国立博物館 館長
理 事	團 宏明	日本棋院 理事
理 事	毛利 衛	日本科学未来館 館長、宇宙飛行士
監 事	鈴木 史郎	みずほ銀行 営業第十八部長
監 事	佐藤 良丈	日本放送協会 関連事業局副部長

(2) 評議員

(2020年3月31日現在)

役 職	氏 名	現 職
評 議 員	安齋 尚志	NHKエンタープライズ 代表取締役社長
評 議 員	江頭 敏明	三井住友海上火災保険 特別顧問
評 議 員	海老澤 敏	国立音楽大学 名誉教授
評 議 員	大橋 一三	NHKテクノロジーズ 代表取締役社長
評 議 員	鈴木 賢一	NHK厚生文化事業団 理事長
評 議 員	檀 ふみ	女優
評 議 員	前田 昭雄	上野学園大学 学長
評 議 員	前田 晃伸	日本放送協会 会長
評 議 員	三浦 惺	日本電信電話 特別顧問
評 議 員	森永 公紀	NHK出版 代表取締役社長
評 議 員	山口 均	菊葉文化協会 専務理事

2. 理事・監事および評議員の異動に関する事項

区 分	年 月 日	退 任	新 任
監 事	2019年6月12日	芦田 健	鈴木 史郎
監 事	2019年6月12日	伊藤 智実	佐藤 良丈
評議員	2019年6月12日	板野 裕爾	安齋 尚志
評議員	2020年3月16日	上田 良一	前田 晃伸

3. 職員に関する事項

(2020年3月31日現在)

職 種	人 数	平均年齢
楽 員	100人	44.6歳
事務職員	23人	45.7歳
嘱託職員	13人	62.2歳
合計または平均	136人	46.8歳

注) 2020年3月31日退職者は含まず

4. 会議に関する事項

(1) 理事会の開催状況

区 分	年 月 日	議 題
第50回理事会	2019年5月27日	1. 業務運営状況報告 2. 2018年度事業報告及び収支決算 3. 第30回評議員会の開催
第51回理事会	2019年6月20日	1. 常勤理事3名の報酬
第52回理事会	2019年12月13日	1. 第31回評議員会の開催
第53回理事会	2020年3月16日	1. 2020年度事業計画および収支予算

(2) 評議員会の開催状況

区 分	年 月 日	議 題
第 30 回評議員会	2019 年 6 月 12 日	1. 2018 年度事業報告及び決算 2. 定款の一部変更 3. 評議員の選任 4. 理事の選任 5. 監事の選任
第 31 回評議員会	2020 年 3 月 16 日	1. 2020 年度事業計画及び収支予算 2. 評議員の選任

XII 理事および監事に支払った報酬の額

当事業年度における当財団の理事および監事に対する報酬の内容は以下の通り。

役員区分	報酬の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額		対象となる 役員数 (人)
		定額部分	変動部分	
理 事	46,755	37,500	9,255	3
監 事	0	0	0	0

※当事業年度末の人員数は理事 11 名、監事 2 名。うち非常勤理事 8 名、非常勤監事 2 名は無報酬であり、上記人員には含まれていない。

<資料 1 >

2019 年度公演概要

公演	年間公演回数	年間入場者	内容
定期公演	54 回	109,778 人	Aプログラム 18回 Bプログラム 18回 Cプログラム 18回
特別公演	9 回	21,270 人	Music Tomorrow、名曲コンサート N響「夏」、松山公演、 N響ほっとコンサート、 「第九演奏会」4回
地方公演	10 回	13,172 人	帯広、釧路、北見、旭川、札幌、津、福 井、富山、大阪、NHK音楽祭
外国公演	9 回	14,119 人	タリン、ロンドン、パリ、ウィーン、 ケルン、ドルトムント、 アムステルダム、ベルリン、 ブリュッセル
契約公演	30 回	—	東京春音楽祭 (2 回)、サントリーホー ル (2 回)、オーチャード定期 (4 回)、 オーチャードオペラ (2 回)、東京芸術劇 場、東京オペラシティ、かつしかシンプ オニーヒルズ、NHK 厚生文化事業団 「第 9」、横須賀、川崎、つくば、さい たま、足利、高崎、白河、静岡、大阪、 鳥取、安城、福山、豊田、いわき、名古 屋、郡山
放送演奏	3 回	—	「名曲アルバム」録音 「大河ドラマ」テーマ曲録音 「朝の連続テレビ小説」関連楽曲録音

<資料 2>

2019 年度 演奏活動実績

◆定期公演 (A, C : NHKホール、B : サントリーホール)

4 月	A	第 1909 回 4/13, 14 指揮: ヤクブ・フルシヤ Sop. ヴェロニク・ジャンス R. シュトラウス: 交響詩「ツァラトウストラはこう語った」 作品 30 ベルリオーズ: 叙情的情景「クレオパトラの死」 ヤナーチェク: シンフォニエッタ
	B	第 1911 回 4/24, 25 指揮: 下野竜也 Vn. ワディム・グルズマン シヨスタコーヴィチ: ヴァイオリン協奏曲第 1 番 イ短調 作品 77 ヴァインベルク: 交響曲第 12 番 作品 114 「シヨスタコーヴィチの思い出に」
	C	第 1910 回 4/19, 20 指揮: 山田和樹 Pf. 河村尚子 平尾貴四男: 交響詩曲「砧」(1942) 矢代秋雄: ピアノ協奏曲 (1967) シェーンベルク: 交響詩「ペレアスとメリザンド」 作品 5
5 月	A	第 1912 回 5/11, 12 指揮: エド・デ・ワールト Pf. ロナルド・ブラウティハム ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第 5 番 変ホ長調 作品 73 「皇帝」 ジョン・アダムズ: ハルモニーレーレ (1985)
	B	第 1914 回 5/22, 23 指揮: ネーメ・ヤルヴィ イベール: モーツァルトへのオマージュ フランク: 交響曲 ニ短調 サン・サーンス: 交響曲第 3 番 ハ短調 作品 78
	C	第 1913 回 5/17, 18 指揮: ネーメ・ヤルヴィ シベリウス: アンダンテ・フェスティーフォ トゥビン: 交響曲第 5 番 ロ短調 (1946) ブラームス: 交響曲第 4 番 ホ短調 作品 98
6 月	A	第 1915 回 6/8, 9 指揮: パーヴォ・ヤルヴィ Br. マティアス・ゲルネ マーラー: こどもの不思議な角笛 ニルセン: 交響曲第 2 番 ロ短調 作品 16 「4つの気質」
	B	第 1917 回 6/19, 20 指揮: パーヴォ・ヤルヴィ オンド・マルトノ シンシア・ミラー Pf. ロジェ・ムラロ メシアン: トゥランガリラ交響曲
	C	第 1916 回 6/14, 15 指揮: パーヴォ・ヤルヴィ Vn. ギル・シャハム バッハ (ウエーベルン編): リチエルカータ ベルク: ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出のために」 ブルックナー: 交響曲第 3 番 ニ短調 (第 3 稿/1889)

9月	A	第1918回 9/14, 15 指揮: パーヴォ・ヤルヴィ Vn. ジョシュア・ベル バツェヴィチ: 弦楽オーケストラのための協奏曲 (1948) ヴィニャフスキ: ヴァイオリン協奏曲第2番 二短調 作品22 ルトスワフスキ: 小組曲 (1951) ルトスワフスキ: 管弦楽のための協奏曲 (1954)
	B	第1920回 9/25, 26 指揮: パーヴォ・ヤルヴィ Fl. エマニュエル・パコ トゥール: ルーツを求めて〜シベリウスをたたえて〜(1990) ニルセン: フルート協奏曲 シベリウス: 交響曲第6番 二短調 作品104 シベリウス: 交響曲第7番 ハ長調 作品105
	C	第1919回 9/20, 21 指揮: パーヴォ・ヤルヴィ Sop. ヴァレンティーナ・ファルカシュ R. シュトラウス: 歌劇「カプリッチョ」から「最後の場」 マーラー: 交響曲第5番 嬰ハ短調
10月	A	第1921回 10/5, 6 指揮: 井上道義 Tim. 植松 透、久保昌一 グラス: 2人のティンパニストと管弦楽のための協奏的幻想曲(2000) ショスタコーヴィチ: 交響曲第11番 ト短調 作品103 「1905年」
	B	第1923回 10/23, 24 指揮: トウガン・ソヒエフ ベルリオーズ: 劇的物語「ファウストの劫罰」から 「鬼火のメヌエット」「ハンガリー行進曲」 ビゼー: 交響曲第1番 ハ長調 ドビュッシー: 牧神の午後への前奏曲 ベルリオーズ: 劇的交響曲「ロメオとジュリエット」作品17 (抜粋)
	C	第1922回 10/18, 19 指揮: トウガン・ソヒエフ Pf. ニコラ・アンゲリッシュ バラキレフ(リャブノーフ編): 東洋風の幻想曲「イスラメイ」 ラフマニノフ: パガニーニの主題による狂詩曲 作品43 チャイコフスキー: 交響曲第4番 ヘ短調 作品36
11月	A	第1925回 11/16, 17 指揮: ヘルベルト・ブロムシュテット Pf. マルティン・ステュルフェルト ステンハンマル: ピアノ協奏曲第2番 二短調 作品23 ブラームス: 交響曲第3番 ヘ長調 作品90
	B	第1924回 11/6, 7 指揮: ヘルベルト・ブロムシュテット ベートーヴェン: 交響曲第3番 変ホ長調 作品55 「英雄」 R. シュトラウス: 交響詩「死と変容」作品24 ワーグナー: 歌劇「タンホイザー」序曲
	C	第1926回 11/22, 23 指揮: ヘルベルト・ブロムシュテット Sop. クリスティーナ・ランツハマー Sop. アンナ・ルチア・リヒター Ten. テイルマン・リヒディ Br. 甲斐栄次郎 合唱/新国立劇場合唱団 モーツァルト: 交響曲第36番 ハ長調 K. 425 「リンツ」 モーツァルト: ミサ曲 ハ短調 K. 427

12月	A	第1927回 11/30, 12/1 指揮:鈴木優人 Vc. ニコラ・アルトシュテット メシアン:忘れられたささげもの ブロッホ:ヘブライ狂詩曲「ソロモン」 コレッリ(鈴木優人編):合奏協奏曲第8番 ト短調「クリスマス協奏曲」 メンデルスゾーン:交響曲第5番 ニ短調 作品107「宗教改革」(初稿/1830)
	B	第1929回 12/11, 12 指揮:パブロ・エラス・カサド Pf. ダニエル・ハリトーフ リムスキー・コルサコフ:スペイン奇想曲 作品34 リスト:ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 チャイコフスキー:交響曲第1番 ト短調 作品13 「冬の日の幻想」
	C	第1928回 12/6, 7 指揮:ディエゴ・マテウス Vn. ニキータ・ポリソグレブスキー メンデルスゾーン:「夏の夜の夢」序曲 作品21 グラズノフ:ヴァイオリン協奏曲 イ短調 作品82 ベルリオーズ:幻想交響曲 作品14
1月	A	第1930回 1/11, 12 指揮:クリストフ・エッシェンバッハ Sop. マリソル・モンタルボ、M-Sop. 藤村実穂子 合唱/新国立劇場合唱団 マーラー:交響曲第2番 ハ短調 「復活」
	B	第1932回 1/22, 23 指揮:ファビオ・ルイーヂ Sop. クリステイーナ・オポライス ウェーバー:歌劇「オイリアンテ」序曲 R. シュトラウス:4つの最後の歌 R. シュトラウス:交響詩「英雄の生涯」作品40
	C	第1931回 1/17, 18 指揮:クリストフ・エッシェンバッハ Pf. ツィモン・バルト ブラームス:ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調 作品83 ブラームス(シェーンベルク編):ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 作品25
2月	A	第1935回 2/15, 16 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ Hr. シュテファン・ドール アブラハムセン:ホルン協奏曲(日本初演) ※バルン・フィル、NTR 土曜マネ、アトル響、ホクランド・フィルとの国際共同委嘱作品 ブルックナー:交響曲第7番 ホ長調
	B	第1934回 2/5, 6 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ Vn. レティシア・モレノ プロコフィエフ:ヴァイオリン協奏曲第1番 ニ長調 作品19 ラフマニノフ:交響曲第2番 ホ短調 作品27
	C	第1933回 1/31, 2/1 指揮:ラファエル・パヤーレ Vc. アリサ・ワイラー・スタイン ショスタコーヴィチ(アトヴミヤーン編):バレエ組曲第1番 ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲第2番 ト長調 作品126 ショスタコーヴィチ:交響曲第5番 ニ短調 作品47

◆特別公演

5月	<p>Music Tomorrow 2019 <5/28> 東京オペラシティコンサートホール 指揮:ジュゼップ・ポンス Sop. クレア・ブース 藪田翔一: 祈りの歌 [N響委嘱作品・世界初演] 藤倉大: Glorious Clouds for Orchestra (2016/17) [第67回「尾高賞」受賞作品] ベンジャミン: 冬の心 ソプラノとオーケストラのためのーウオレス・ステイーヴ ンスの詩『スノー・マン』によるー (1981) カサブランカス: いにしへの響き (2006) [日本初演]</p>
7月	<p>明電舎 presents N響名曲コンサート2019 <7/2> サントリーホール 指揮:井上道義 Guit. 大萩康司 シャブリエ: 狂詩曲「スペイン」 ロドリーゴ: アランフェス協奏曲 ベルリオーズ: 幻想交響曲 作品14</p>
	<p>N響「夏」2019 <7/19> NHKホール 指揮:ディマ・スロボデニューク Pf. シモン・トルプチェスキ ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18 シベリウス: 交響曲第2番 ニ長調 作品43</p>
	<p>松山公演 <7/21> 松山市民会館 N響「夏」2019と同プログラム</p>
8月	<p>ほっとコンサート <8/4> NHKホール 指揮:原田慶太楼 Pf. 反田恭平 ロッシーニ: 歌劇「ウィリアム・テル」序曲から終曲 「スイス軍の行進」 ブラームス: ハンガリー舞曲集から第5番 ドヴォルザーク: スラヴ舞曲集 第1集から第1番 ボロディン: 歌劇「イーゴリ公」から「ダッタン人の踊り」 ガーシュウィン: ラプソディー・イン・ブルー* ビゼー: 「アルルの女」組曲 第2番から「メヌエット」 エルガー: 行進曲「威風堂々」第1番 ヒナステラ: バレエ組曲「エスタンシア」から「マランボ」</p>
12月	<p>第九公演 <12/21, 22, 23> NHKホール <12/26> サントリーホール 指揮:シモーネ・ヤング Sop. マリア・ベングトソン、Alt. 清水華澄、 Ten. ニコライ・シュコフ、Br. ルカ・ピサローニ ベートーヴェン: 交響曲第9番 ニ短調 作品125 「合唱つき」 合唱/東京オペラシンガーズ</p>

◆海外公演

武満徹：ハウ・スロー・ザ・ウインド シューマン：チェロ協奏曲イ短調作品 129 (Vc. ソル・ガベッタ) ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番ハ短調作品 37 (Pf. カティア・ブニアティシヴィリ) ブルックナー：交響曲第7番ホ長調 ラフマニノフ：交響曲第2番ホ短調作品 27		
2月	タリン <2/22> Tallinn Estonia Concert Hall 武満、シューマン、ブルックナー	エストニア
	ロンドン <2/24> Royal Festival Hall 武満、シューマン、ラフマニノフ	イギリス
	パリ <2/25> philharmonie de paris 武満、ベートーヴェン、ブルックナー	フランス
	ウィーン <2/27> Wiener Konzerthaus 武満、ベートーヴェン、ブルックナー	オーストリア
	ケルン <2/28> Cologne Philharmonie 武満、シューマン、ブルックナー	ドイツ
	ドルトムント <2/29> Konzerthaus Dortmund 武満、シューマン、ブルックナー	ドイツ
3月	アムステルダム <3/2> Concertgebouw 武満、シューマン、ラフマニノフ	オランダ
	ベルリン <3/3> Philharmonie Berlin 武満、ベートーヴェン、ブルックナー	ドイツ
	ブリュッセル <3/4> Brussels Bozar 武満、ベートーヴェン、ラフマニノフ	ベルギー

◆地方公演

10月	NHK音楽祭 <10/10> NHKホール 指揮：トン・コープマン Sop. イェツァベル・アリアス・フェルナンデス Alt. 藤木大地 Ten. パトリック・グラール Br. クラウス・メルテンス 合唱/新国立劇場合唱団 モーツァルト：交響曲第40番 ト短調 K. 550 モーツァルト：レクイエム K. 626
7月	帯広公演 <7/8> 帯広市民文化ホール 釧路公演 <7/9> 釧路市民文化会館 コーチャンフォー釧路文化ホール 北見公演 <7/11> 北見市民会館 旭川公演 <7/12> 旭川市民文化会館 札幌公演 <7/13> 札幌コンサートホール Kitara 指揮：ローレンス・レネス Vn. 服部百音 Sop. マリン・ビストレム モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 K. 219 「トルコ風」 マラー：交響曲第4番 ト長調

9月	津公演 <9/5> 三重県文化会館 福井公演 <9/7> ハーモニーホールふくい 富山公演 <9/8> オーバード・ホール 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ Vn. 川久保賜紀 チャイコフスキー: 幻想曲「フランチェスカ・ダ・リミニ」 作品 32 ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品 26 チャイコフスキー: 交響曲第2番 ハ短調 作品 17
12月	大阪公演 <12/15> NHK大阪ホール 12月B定期と同プログラム

◆放送関連

6月	録音「名曲アルバム」<6/25> NHK509st. 指揮: 広上淳一 ワーグナー: 楽劇「ニュルンベルクのマスタージンガー」 第一幕への前奏曲 マーラー: 交響曲第5番ハ短調 アダージェット
10月	録音 大河ドラマ「麒麟が来る」テーマ曲他 <10/1> NHK509st. 指揮: 広上淳一
11月	録音 朝の連続テレビ小説「エール」関連楽曲 <11/25> NHK509st. 指揮: 広上淳一
3月	第95回放送記念日式典 <3/13> NHKホール ※式典中止 指揮: 井上道義 チャイコフスキー: 交響曲第4番へ短調作品36から第4楽章

◆契約公演

4月	東京・春・音楽祭 <4/5,7> 東京文化会館 指揮:ダーヴィト・アフカム ワーグナー: 歌劇「さまよえるオランダ人」(演奏会形式) オランダ人/プリン・ターフェル ダーラント/アイン・アンガー ゼンタ/リカルダ・メルベート エリック/ペーター・ザイフェルト かじとり/コスミン・イフリム ほか 合唱/東京オペラシンガーズ
	N響ゴールデン・クラシック2019 <4/28,29> サントリーホール 指揮:ドミトリー・リス Pf. 清水和音 ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18 (4/28) リムスキー・コルサコフ: 序曲「ロシアの復活祭」 作品36 ストラヴィンスキー: バレエ組曲「火の鳥」(1919年版) ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第3番 ニ短調 作品30 (4/29)
5月	白河公演 <5/1> 白河文化交流館コミネス N響ゴールデンクラシック(4/28)と同プログラム

	<p>オーチャード定期 <5/6> オーチャードホール 指揮:エド・デ・ワールト Sop. 中村恵理 ブラームス: 悲劇的序曲 作品 81 R. シュトラウス: 歌曲集 作品 10- 「献身」 歌曲集 作品 27- 「あすの朝」 歌劇「インテルメッツォ」 作品 72- 4つの交響的間奏曲から第2曲「暖炉の前の夢想」 歌曲集 作品 27- 「憩え、わが魂」 歌曲集 作品 39- 「心安らかに」 歌曲集 作品 27- 「ツェチーリエ」 ブラームス: 交響曲第2番 ニ長調 作品 73</p>
6月	<p>かつしか公演 <6/1> かつしかシンフォニーヒルズ 指揮:ジュゼップ・ポンス Vn. 南 紫音 ファリャ: 歌劇「はかない人生」 一間奏曲とスペイン舞曲 ラロ: スペイン交響曲 ニ短調 作品 21 ファリャ: バレエ組曲「三角帽子」 第2部 ラヴェル: ボレロ</p>
	<p>横須賀公演 <6/2> 横須賀芸術劇場 かつしか公演と同プログラム</p>
	<p>オーチャード定期 <6/22> オーチャードホール 6月B定期と同プログラム</p>
	<p>静岡公演 <6/27> 静岡グランシップ 指揮:下野竜也 Pf. 菊池洋子 ベートーヴェン: 歌劇「フィデリオ」 序曲 モーツァルト: ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K. 467 ベートーヴェン: 交響曲第7番 イ長調 作品 92</p>
7月	<p>オーチャード定期 <7/6> オーチャードホール 地方公演(北海道)と同プログラム</p>
	<p>N響夏大阪2019 <7/20> ザ・シンフォニーホール 「N響夏2019」と同プログラム</p>
	<p>鳥取公演 <7/23> とりぎん文化会館 「N響夏2019」と同プログラム</p>
	<p>アイシン・エイ・ダブリュ公演 <7/27> アイシン・エイ・ダブリュ・ハーモニーホール 指揮:尾高忠明 Pf. 小曾根真 シベリウス: 交響詩「フィンランディア」 op. 26 ガーシュウィン: ピアノ協奏曲 ヘ調 ベートーヴェン: 交響曲第5番 ハ短調 作品 67 「運命」</p>
	<p>福山公演 <7/29> ふくやまりーデンローズ 指揮:尾高忠明 Pf. 小曾根真 ガーシュウィン: ピアノ協奏曲 ヘ調 ベートーヴェン: 交響曲第5番 ハ短調 作品 67 「運命」</p>

	<p>川崎公演 <8/3> ミューザ川崎 指揮:原田慶太楼 Pf. 反田恭平 ヴェルディ: 歌劇「運命の力」序曲 ガーシュウィン: ラプソディ・イン・ブルー ボロディン: 歌劇「イーゴリ公」から だったん人の踊り ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ ブラームス: ハンガリー舞曲集から 第1番、第5番、第6番 エルガー: 行進曲「威風堂々」 第1番</p>
8月	<p>オーチャードホール公演 <8/29, 9/1> オーチャードホール 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ ベートーヴェン: 歌劇「フィデリオ」 op. 72 (演奏会形式) ドン・ピツァロ: ウォルフガング・コッホ フロレスタン: ミヒャエル・シャーデ レオノーレ: アドリアンヌ・ピエションカ ロッコ: フランツ・ヨーゼフ・ゼーリヒ マルツェリーネ: モイツァ・エルトマン ヤキーノ: 鈴木 准 ドン・フェルナンド: 大西宇宙 合唱: 新国立劇場合唱団</p>
9月	<p>豊田公演 <9/6> 豊田市コンサートホール 地方公演 (津ほか) と同プログラム</p> <p>筑波公演 <9/29> つくばノバホール 指揮:渡邊一正 Vn. 木嶋真優 チャイコフスキー: 歌劇「エフゲーニ・オネーギン」から ”ポロネーズ” ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26 ドヴォルザーク: 交響曲第9番 ホ短調 作品95 「新世界から」</p>
10月	<p>オーチャード定期 <10/13> オーチャードホール ※公演中止 指揮:トン・コープマン Sop. イェツァベル・アリアス・フェルナンデス モーツァルト: セレナー第6番 ニ長調 K. 239”セレナータ・ノットウルナ” モーツァルト: アリア「大いなる魂と高貴な心は」 K. 578 モーツァルト: アリア「だれが知っているでしょう、 私のいとしい人の苦しみを」 K. 582 モーツァルト: モテット「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」 K. 165 モーツァルト: 交響曲第40番 ト短調 K. 550</p> <p>N T T 東日本公演 <10/30> 東京オペラシティコンサートホール 指揮:沼尻竜典 グリンカ 歌劇:「ルスランとリュドミーラ」序曲 マスネ: タイスの瞑想曲 サラサーテ : カルメン幻想曲 ブラームス: 交響曲第1番 ハ短調 作品68</p>
11月	<p>さいたま公演 <11/2> 埼玉会館 指揮:下野竜也 Pf. 小山実稚恵 ヴェルディ: 歌劇《運命の力》序曲 ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18 ムソルグスキー (ラヴェル編曲): 組曲《展覧会の絵》</p>

	足利定期 <11/9> 足利市民会館 1 1月B定期と同プログラム
	いわき定期 <11/10> いわきアリオス 1 1月B定期と同プログラム
12月	東京芸術劇場公演 <12/14> 東京芸術劇場 1 2月B定期と同プログラム
	NHK厚生文化事業団 第九公演 <12/25> NHKホール 1 2月第九公演と同プログラム
1月	オーチャード定期 <1/25> オーチャードホール 1月B定期と同プログラム
	名古屋公演 <1/26> 愛知県芸術劇場 1月B定期と同プログラム
2月	高崎公演 <2/8> 高崎芸術劇場 2月B公演と同プログラム
	郡山公演 <2/9> 郡山市民文化センター 2月B公演と同プログラム
3月	オーチャード定期 <3/14> オーチャードホール ※公演中止 指揮:井上道義 ピアノ:松田華音 チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23※ チャイコフスキー:交響曲 第4番 ヘ短調 作品36
	都民芸術フェスティバル <3/17> 東京芸術劇場 ※公演中止 指揮:熊倉 優 Vn:白井 圭 メンデルスゾーン:序曲「フィンガルの洞窟」作品26 ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 作品26 シューマン:交響曲第3番 変ホ長調 作品97「ライン」